

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和4年11月30日



学校だより

12月号

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

TEL 045(902)1821

バランスよく

校長 鈴木 彰

爽やかな風が、頬の横を通り抜けます。この数年はとても季節の変化が急激で、心地よい秋風を感じる日は貴重です。こんな日は外で秋を感じたいですね。でも、暦はもう師走ですから、これからは木枯らしに背中を丸める毎日になるのでしょうか。

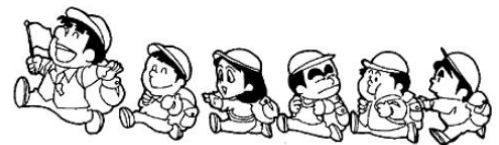
先日、4組の新石川小との合同遠足(こどもの国)と6年生の修学旅行(日光)の引率をしました。どちらも秋の青空が広がる とても心地よい日でした。

子どもたちも、友達と交流したり、紅葉を見たり、歴史を感じたりする中で、本当によい表情をしていました。秋の光が反射して輝く笑顔は、学校の中、教室の中で見る笑顔とはまた違うものです。どの子どもも充実し、満足し、価値の高い学びとなったようです。



コロナの時代に校外学習を行うには、内容や方法、安全性を考えて細かく計画しなければならないので簡単なことではありませんが、子どもたちにとってはとても大切な活動であり、意義ある体験・経験なのだなあとはあらためて感じたのでした。

教室での学びと外での学び、静かに本を読むことや草原で走り回ること、一人でいる時間や集団でいる時間など、様々なことをバランスよく経験するのは、子どもの成長にとって大切なことなのですね。



そういえば、私の子どもが小学生の頃に、習い事について学校の先生に相談したら、「子どもの希望をかなえて習い事に通わせるのはよいことです。でも、本来、家族と一緒にいるはずの時間に習い事に行かせるのなら、そのぶん、ほかの日に家族と一緒にいる時間を作ってあげたいですね。子どもにとってはどちらも大切な時間ですから、減らしてしまうマイナス分を大人がきちんとバランスをとって補ってあげることが必要です」と言われました。

この言葉がとても心にストレートに入ってきて、私は本当に納得しました。休日の過ごし方を見直して、子どもが「習い事疲れ」にならないように努めたのを覚えています。

3年間も感染症の影響が続いて、それでなくとも偏った生活になっています。今できることを、できる範囲で、できるかぎり、バランスよく体験・経験させたいと心から思っています。